

平成 30 年 2 月定例教育委員会 会議録

- |         |                      |       |             |       |
|---------|----------------------|-------|-------------|-------|
| 1. 日 時  | 平成 30 年 2 月 22 日 (木) | 開 会   | 午後 1 時 30 分 |       |
|         |                      | 閉 会   | 午後 3 時 00 分 |       |
| 2. 会 場  | 茅野市役所 602 会議室        |       |             |       |
| 3. 出席委員 | 教育長                  | 山田 利幸 | 同職務代理者      | 矢崎 靖雄 |
|         | 教育委員                 | 濱 勝之  | 教育委員        | 小林 俊恵 |
|         | 教育委員                 | 小平 光子 |             |       |
| 出席者     | 生涯学習部長               | 平出 信次 | こども部長       | 牛山津人志 |
|         | 健康福祉部長               | 竹内 武  |             |       |
|         | 学校教育課長               | 有賀 淳一 | 幼児教育課長      | 五味留美子 |
|         | こども課長                | 五味 健志 | 生涯学習課長      | 藤森 隆  |
|         | 文化財課長                | 守矢 昌文 | 公民館長        | 矢島喜久雄 |
|         | スポーツ健康課長             | 鋤柄 敏  | 健康づくり推進課    | 柳澤 澄子 |
|         | 教育総務係長               | 渡辺 雄一 | こども係長       | 今井 明彦 |
|         | 生涯学習係長               | 伊藤 研一 | 健康推進係担当     | 堀 美恵  |
|         | 教育総務主事               | 丸茂 直樹 |             |       |
| 4. 傍聴者  | 3 名                  |       |             |       |

## 2 月定例教育委員会次第

日 時 平成 30 年 2 月 22 日(木)午後 1 時 30 分から

場 所 市役所 602 会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

(1)学校教育課

(2)こども課

(3)幼児教育課

(4)生涯学習課

(5)公民館

(6)文化財課

(7)スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

(1)生涯学習課

### 4 議 案

(1)市議会 3 月定例会一般質問について

(2)市議会 3 月定例会に提出される予定の議案等に対する意見について

(3)茅野市図書館管理規則の一部を改正する規則について

### 5 検討事項

今回はありません。

### 6 その他

(1)食育推進計画の報告について(健康づくり推進課)

(2)生涯学習部分野別計画の概要について

(3)第 3 次こども・家庭応援計画(どんぐりプラン)の第 1 回パブリックコメントの  
実施について

(4)教育・保育給付に関する利用者負担額(保育料)改正について

(5)臨時教育委員会の開催について

次回定例教育委員会日程について

3 月 27 日(火)午前 9 時 30 分「704 会議室」

(事務局会議 3 月 16 日(金)午前 9 時 00 分「602 会議室」)

### 7 閉会

教育長

只今から2月定例教育委員会を開催します。

それでは前月の1月の会議録の確認をします。承認に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議ないようですので、委員会終了後に署名をお願いします。

では、報告事項に入ります。報告第1号をご覧ください。

1日に不登校等対応検討委員会へ出席しました。これは茅野市の不登校等対応検討委員会で、各学校から委員の先生を1名、学校教育の指導主事の先生、適応指導教室の先生、子ども課の家庭支援の職員で行われました。来年度の対策を出して来年度取組を行っていきたいと思います。来年度は今までと違った切り口で対策を行っていきたいと思います。詳しくは総合教育会議で説明させていただきます

4日に公民館分館職員研修会が行われました。その中で、米沢小学校の子どもの作文を読みました。私は地域に育てられて6年生になった、雪降っても助けてくれる、母親が働いているのも地域の人のおかげ、今度は私が小さい子を助けてあげるといった内容の作文でした。書いたのは小学生ですが、非常に地域とのあり方を上手に表した作文でした。

5日に諏訪地区スケート大会結団式ありました。これは子どものスケート大会の結団式でしたが、小平奈緒さんを目指して、頑張ろうというお話をしました。

7日に学力問題の打ち合わせを行いました。この日、学力向上の一環として、長峰中、宮川小、金沢小の3校に1人教員が配置されました。3校で学力向上のためにこの先生を中心に、教育実践を深めていくという内容でした。

8日に、読書ボランティアの研修会が行われました。市民の方で読書ボランティアを行っている人たちが集まり情報交換会を行いました。午後には県業務改善推進委員会が行われました。県全体として、業務改善に取り組む方法が示されると思います。1つが各市町村の予算の関係もあると思いますが、学校にタイムレコーダーを配置すること、もう1つは閉庁日について、もう1つは公務支援システムを来年の夏以降に配備できるのか、というような話が後日明らかになるかと思います。

18日に諏訪地方スケート大会が行われました。茅野市は22回目の優勝でした。22連勝中だそうです。

12日、13日に来年度行政アドバイザーを就任されるということで、森田先生が来庁されました。課長さんたちから、茅野市の教育について説明してもらいました。非常に濃い内容のお話をしました。

15日には、子育て関係者会議がありました。こども課の地区こども館の人達が参加され子育てに関する内容の会議でした。学校で行っているコミュニティスクールと地域の子育てをクロスさせて考えていきたいという空気になっていまして、ちょうど1年後を目安に行えればと考えています。

16日にはICT関係の打ち合わせが行われました。ICT教育推進計画ができたという事でその内容を見させていただきました。

20日には予算発表、幼保小まとめの会、ケータイインターネット連絡会が行われました。

22日以降はご覧の通りの日程となっております。

以上ですがご質問などありますか。無いようですので、次に各課から報告事項第2号の3月の行事予定についてお願いします。

[各課から3月行事予定について報告]

資料(報告2号)

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課から教育委員会共催・後援について報告]

資料(報告3号)

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「市議会3月定例会一般質問について」、お願いします。

こども部長

7人の議員から質問をいただいております。

1人目は、篠原啓郎議員から「茅野市の英語活動と英語教育について」、「小学校の道德教育と縄文科について」質問をいただいております。

2人目は、山岸正衛議員から「学校林の整備について」質問をいただいております。

3人目は、両角秀喜議員から「保育園が繰り広げる若者世代応援策について」質問をいただいております。

4人目は、樋口敏之議員から「市内小中学校における訪日教育旅行学校交流と英語教育推進アドバイザー導入後の子供たちの変化と今後について」質問をいただいております。

5人目は、長田近夫議員から「学校での心肺阻止教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について」質問をいただいております。

6人目は、伊藤正陽議員から「生活保護の生活扶助費の引き下げについて」こちらについては、就学援助費、保育料等の関係のご質問となります。

7人目は「持続可能な地域を構築するため市民意見をどのように集めるのか」こども部については子育て世代の意見について該当する質問をいただいております。

こども部については以上になります。

#### 生涯学習部長

次に生涯学習部の一般質問ですが、3人の議員の方から質問をいただいております。

1人目は、北沢千登勢議員から「陸上競技場の設備充実と駅伝大会の開催について」質問をいただいております。

2人目は、樋口敏之議員から「市内小中学校における訪日教育旅行学校交流と英語教育アドバイザー導入後の子供たちの変化と今後について」生涯学習ではロングモントが該当する質問となります。

3人目は、丸茂岳人議員の「30年度予算から考えるこれからの茅野市について」総合体育館の改修工事についての質問となります。

生涯学習部からは以上となります。

#### 教育長

質問等ございませんか。

次に議案2号「市議会3月定例会に提出される予定の議案等に対する意見について」両部長からお願いします。

#### こども部長

こども部に関する議案は議案4号「第5次茅野市総合計画基本構想について」、議案16号「平成29年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について」、議案18号「平成30年度茅野市一般会計予算について」の3件となります。議案4号の基本構想の個別計画についてはその他で説明させていただきます。議案16号「平成29年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について」はこの後補正予算書の説明をさせていただきます。議案18号「平成30年度茅野市一般会計予算について」については事前配布した資料を見ていただいたと思いますので、説明は省かせていただきます。それでは議案16号「平成29年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について」ご説明します。内容は第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ171,327千円を減額し、歳入歳出それぞれ23,057,035千円とするというものです。こども部の関係は、支出が保育士の雇用が見込みよりも少なかったということ、児童手当費が対象になる人が少なかったということで、減額されています。歳入については、歳出の減額に伴い、民生費の国庫支出金、県支出金、県負担金が減額となっております。

教育長

質問等ございませんか。

次に議案 3「茅野市図書館管理規則の一部を改正する規則について」生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長

昨年度、図書館のサービス向上のためにアンケート調査を実施したところ図書館の開館時間の延長の希望が多かったため、平成 30 年度から平日における開館時間の変更ということで、今回の規則の改正となります。詳細の時間については、現在図書館の開館時間は、平日、休日ともに午前 10 時から午後 6 時までとなっております。平成 30 年度からは平日は午前 9 時 30 分から午後 6 時 30 分まで、土曜日日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日については今まで通り午前 10 時から午後 6 時までとなります。

教育長

質問等ございませんか。

次にその他 1「食育推進計画の報告について」健康づくり推進課から説明をお願いします。

健康づくり推進課長

第 2 次茅野市食育推進計画について説明（資料その他 1）

【概要】

①計画名称

- ・第 2 次茅野市食育推進計画(第 2 次元気もりもり食育プラン)

②計画期間

- ・2018 年度～2027 年度

③計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・妊娠期から熟年期まで、間断ない食育の推進を行うことにより、元気で豊かな生活を送ることのできる社会の実現を目指して、食の面から健康づくりを進める。食育基本法第 18 条第 1 校に基づく市町村食育推進計画として位置付け。

④背景・必要性

- ・第 1 次食育推進計画に基づき、食を通して健康づくりを推進してきた人口減少、高齢化社会へ進んでいくなかで、いくつになっても健康で生活していくことがより求められている。そのために、生きる源である「食」に関心をもち、望ましい食生活を実践することや、食文化を守ること、食を通じたコミュニケーションを大切に、体だけでなく、心も豊かに生きていくことが大変重要になっている。

⑤基本理念や目指す将来像

・『ち』・『の』・『し』で育てる元気で豊かな人づくり・地域づくり」、家庭を中心とした「食」とおして健康づくりをする。さらに市民一人ひとりが心豊かに食を楽しみ、人と人とのコミュニケーションを図っていく中で、食に関心を持ち、旬や郷土の味に親しむことや感謝の気持ちを深めることを目指す。

#### ⑥施策内容

1『ち』地域の食文化を大切に守り伝えます。

##### 【重要目標】

- (1)茅野市の食材に愛着をもち、味わう。
- (2)郷土の味、旬の味、行事食等を守り伝える。

##### 【説明】

・茅野市には自然豊かな土地でとれた豊富な食材があります。八ヶ岳山麓、縄文の里で生まれた四季おりおりの料理や、行事とともに食べられてきた料理、家庭で食べ継がれてきた味があります。地産地消を進めて、茅野市の食材や旬の味、郷土食や行事食などを、家庭で取り入れていくことができるよう、食文化を大切に守り伝えます。

2『の』望ましい食生活で健康長寿を目指します。

##### 【重要目標】

- (1)個々にあったバランスの良い食事をする。
- (2)生活習慣病予防のための食生活を実践する。
- (3)よくかんで食べる。

##### 【説明】

・食育推進キャラクター「3人の栄養マン」を活用しながら「主食・主菜・副菜」のそろった食事ができるようにすすめます。

・生活習慣病予防のため、よくかむことや、適塩、野菜たっぷり、和食の取り入れをすすめ、市民一人ひとりが自分の健康状態にあった食生活を実践することで、健康寿命の延伸を目指します。

2『し』食でコミュニケーションアップを図ります。

##### 【重要目標】

- (1)感謝の気持ちを持つ
- (2)楽しく作っておいしく食べる
- (3)食育を広める

##### 【説明】

・食育を広め、食育活動をする団体や個人を増やし、家族や友達等と作る楽しさ、食べる楽しさを感じるとともに、食への感謝の気持ち、気持ちよく食事をするためのマナーを身に着け、コミュニケーションアップを図ります。

#### ⑦進行管理

・あらゆる「主体」(食に取り組む市民や各種団体)による、協働のまちづくりを進める。

・この計画を推進できる体制作りを考える。計画の推進に関する検証(進行管理)は、目標指標を設定し、毎年進捗状況を把握し、食育推進委員会で、進行管理を行うとともに、計画や事業の見直しを行う。

⑧検討組織等

・茅野市食育推進計画策定委員会

教育長

何か質問等ございませんか。

矢崎委員

最近、アレルギーの子どもが増えてきているということは聞いていますが、アレルギーについてはなにか取り組みはありますか。

健康づくり推進課長

アレルギーという言葉では、標記されておりませんが、『の』の【重点目標】の個々にあったバランスの良い食事をするという取り組みの中で、例えば、食品表示、栄養成分表表示を見るといったことを習慣づけていくことがアレルギーについての取り組みになります。

教育長

学校の方では具体的に、食育保健指導の一環のなかで、新入生だけでなく、毎年2月、3月にアレルギーの調査を行います。新入生、転校生については保護者と複数回アレルギーの確認を行います。毎月アレルギー対応が必要な家庭には、どういったものを除去するかを連絡します。重大なアナフィラキシーを持っている子どもは、市の支援員の方が給食の時間につくようにしています。

他に質問等ございませんか。

次にその他2「生涯学習部分分野別計画の概要について」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

【概要】

今回説明させていただく分野別計画ですが資料の体系図にあるように、1番上に第5次茅野市総合計画があり、そこから子育て・教育・文化、茅野市教育大綱へ枝分かれしております。その茅野市教育大綱から、生涯学習の充実ということで「学習機会充実と場の提供」があり、茅野市生涯学習推進指針へ続きその下に、5つの計画があるといった内容です。【茅野市生涯学習推進指針】【茅野市社会教育推進計画】【第3次茅野市こども読書活動推進計画】【茅野市文化芸術推進計画】【縄文の里史跡整備・活用基本計画】【茅野市スポーツ推進



計画】についてはパブリックコメントを2月5日から3月2日まで行っておりますので、説明の後に気になる点等がございましたら、ご意見をお願いします。

### 【茅野市生涯学習推進指針】

#### ①指針期間

- ・2018年度～2027年度

#### ②指針策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・行政として生涯学習を推進するためのあり方を整理し、生涯学習推進の基本的な方向性・考え方を示す。
- ・第5次茅野市総合計画における子育て・教育・文化分野の茅野市教育大綱を上位計画とし、基本方針の一つである「学習機会の充実と場の提供(生涯学習の充実)」に向けて、茅野市が生涯学習の理念に基づき、一体となって事業を推進するための方向性を示す。

#### ③背景・必要性

- ・茅野市では教育大綱に基づき、幼児教育・学校教育・生涯学習の充実を図ってきた。
- ・教育大綱における基本方針である「学習機会の充実と場の提供(生涯学習の充実)」の具体的方針として策定する。

#### ④基本理念や目指す将来像

- ・これからの生涯学習のあり方として、市民一人ひとりの生涯学習を支援するとともに、地域の中で学習の成果を活かすことにより、学びと行動の循環を促進する「知の循環型社会」を目指す。さらに、学習を媒介として生まれる人々のつながりによって進められる地域づくり・ひとづくりを推進する。
- ・「いつでも」「どこでも」「だれでも」学び続けられる環境を整え、自らの資質と能力を生かし、目標に向かって努力を重ねることで「生きる力」を育むとともに、未来を切り拓き、創造力あふれる人づくりを目指していく。

#### ⑤施策内容

- ・市民一人ひとりの多様なニーズに対応し、「学びのきっかけづくり」と「良好な学びの場」を提供・維持するために3つの「支える」を大切にします。

### 1 市民の学びを支える

#### (1) 学びのきっかけづくりと学びの機会提供

##### i 市民が自発的に学習できる機会の提供

- ・より多くの市民が、多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくために、そのライフステージや置かれた状況に応じた学びのきっかけづくりと学びの機会を提供します。

##### ii 現代的・社会的課題に関する学習機会の充実

- ・個人や地域が抱える課題が多様化・複雑化する中で、現在の社会情勢に対応した人づくり・地域づくりを進め、自らの課題を自らで解決できる力や、自立した個人や他者と協働しながら主体的に地域社会の課題解決を担うことができる力を育むための学習機会を充実させます。

### iii 学習機会に対する情報提供の充実

- ・市民が自ら適切な学習機会を選択し、自主的に学ぶことができるよう、生涯学習情報の提供や、学習者のための相談体制の充実に努めます。

## (2) 学びの場の提供

- ・様々な施設において、市民の多様なニーズに応じた良好な学びの場の提供・維持に努めます。

## 2 学びの成果の活用を支える

### (1) 学びの成果を活用できる機会や場の提供

- ・学びの成果を活かそうとする市民に対して、自己実現を図るとともに、幅広く展開、発展させることができるように努めます。

### (2) 学びの成果を活用できる仕組みづくり

- ・学びの成果を個人の知識や教養にとどめるだけでなく、地域社会の様々な場面で発揮し還元することで、地域の活性化を図るとともに、個人の学ぶ喜びやさらなる学習意欲の促進を図ることができる仕組みづくりに努めます。

## 3 つながりを支える

### (1) 学ぶもの同士のつながりを支える

- ・核家族化や都市化、また I T (情報技術) 化などによるライフスタイルや価値観の変化など、市民を取り巻く社会状況は急速に変化し、高齢者や若者をはじめ地域で孤立する人が多くなり、地域社会における人と人とのつながりが希薄化する中、学習を通じて学ぶもの同士が交流できるような機会提供、情報提供を行います。

### (2) 市民・事業者・学校等・地域のつながりを支える

- ・個人や社会の多様性を認め、互いにより良い関係を築くことができ、地域の課題解決につながるよう、多様な人・ものとのつながりを支える施策を実施します。

### (3) 世代間交流を支える

- ・少子高齢化が進む中、高齢者が培ってきた知識・経験を若者・子どもが継承し、周囲の温かいまなざしの中で社会性・協調性を身につけたり、高齢者が生きがいを持ち心豊かな生活を送ったりすることができるよう、世代間交流の活性化を図ります。

この3つの「支える」に基づく生涯学習の取組を推進することで、市民の生きがいづくりや課題解決に寄り添い、よりよいまちづくり、豊かなまちづくりにつなげていきます。

## 【茅野市社会教育推進計画】

### ①計画期間 2018年度～2027年度

## ②計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・個人の学びが地域に循環・還元することで、活力あるまちづくりの推進を目指し、社会教育を総合的に推進するための計画として策定。
- ・「第5次茅野市総合計画」の子育て・教育・文化分野及び「茅野市教育大綱」における社会教育の推進に対応する分野別計画として位置付け。今後の社会教育の推進に関する具体的な施策の計画であり、「茅野市生涯学習推進指針」に掲げる方針を踏まえたものである。

## ③背景・必要性

- ・近年、地域を取り巻く社会環境は、急速な少子高齢化や高度情報化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化等急激な変化を遂げている。このような時代背景の中で、市民の学習要求の多様化・高度化に対応し、様々な地域課題や生活課題を解決するために、社会教育の役割はますます重要性が増している。

## ④基本理念や目指す将来像

- ・「教育大綱」における「生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む」という理念のもと、個人の要望や社会の要請にこたえ「自ら進んで学び続ける環境をつくる」ことで、市民一人ひとりの生涯にわたる自由で主体的な学習活動の場を提供することにより、豊かな人間性を育み、学習した成果を活かし、「生涯学習推進指針」で示す3つの「支える」の具体化を目指す。

## ⑤施策内容

### 1 公民館の充実

- ・公民館は、地域の課題や生活の課題を取り上げるとともに、数々の実践を積み重ね、生涯学習の中核的教育機関としての役割を果たしてきました。また、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学べる環境づくりを目指して、各種講座等多種多様な学習活動を支援しながら、人々の交流を通じての人づくり、地域づくりを目指して公民館活動を展開する。

### 2 図書館の充実

- ・図書館は「地域の読書施設」「地域の情報拠点」「地域の多様な資料や情報を収集・保存・提供する施設」として、地域の様々な紙媒体の資料・映像資料等を収集し、レファレンスサービスの充実と市民が調べることや考えることの力をつけるための場を提供する。

### 3 ハヶ岳総合博物館の充実

- ・ハヶ岳総合博物館は、「市民が郷土の自然・風土やそれを舞台にして生きてきた人々の歴史や生きかたを正しく理解し、それを守り生かし、先人の叡智に学び、深く郷土を愛し、その未来を創造することができる素地を養う学習館」としての役割を担っている。今後は、さらに科学教育振興の拠点として、プラネタリウム投影を始め、自然観察や科学工作などの講座を開催し、科学に親しむ機会を充実させていく。

#### 4 尖石縄文考古館の充実

・尖石縄文考古館は、国宝「土偶」（縄文のビーナス）、国宝「土偶」（仮面の女神）といった日本を代表する文化財が展示され、市内の考古学資料の収集・保存・調査研究の成果を展示教育・普及・活用に活かし、縄文を意識したまちづくり・人づくりの基礎を整備し、後世に伝え引き継ぐことを目指す。

#### 5 神長官守矢史料館の充実

・神長官守矢史料館は守矢家に伝わる古文書をはじめとする史料を永久的に保存し後世に伝えるとともに、展示などの公開を通じて諏訪地域の歴史や諏訪信仰を学ぶ場として活用されています。今後は諏訪大社上社本宮から前宮にかけての歴史的ゾーンの中核的な学術センターを目指す。

#### 6 地域づくり・ひとづくりの推進

・社会をたくましく生き抜く基礎学力を培い、生きる力(自己教育力)の育成に努め、「茅野市子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)」との整合を図り、学校と家庭・地域と連携・協働しながら、学校や家庭を含めた地域づくり・ひとづくりを推進する。

#### ⑤ 進行管理

・原則として毎年、社会教育委員の会議に進捗状況等の報告を行い、この委員会の意見を踏まえて進行管理を行う。

#### ⑥ 検討組織等

・茅野市社会教育委員の会議

### 【第3次茅野市子ども読書活動推進計画】

#### ① 計画期間 2018年度～2023年度

#### ② 計画策定の趣旨・目的・位置づけ

・子どもがさまざまな機会と場所で、本と出会い、感動を覚え、読む楽しさや知る喜びを体験できるよう、読書活動に親しむ機会の充実と環境の整備を図り、子どもの自主的な読書活動を総合的に応援・推進していくことを目的とする。

・この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に基づいて策定するもので、「茅野市子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)」との整合を図り、茅野市の子どもの読書活動を推進していくための総合的な計画。

・「第5次茅野市総合計画」の子育て・教育・文化分野に対応し、「茅野市教育大綱」及び「茅野市生涯学習推進指針」の方針に基づく分野別計画。

#### ③ 背景・必要性

##### 【背景】

・計画期間の終了に伴う見直し。

##### 【必要性】

・第1次、第2次計画の理念を継承し、発達段階に応じた働き掛け、様々な機会の充実を目指します。

・第3次計画では、更に活動を推進するため、読む力・情報をまとめる力・伝える力などの読書の質を高めることが必要とされている。子どもの言語活動を充実するため、子どもの身近に良質な本があるような読書環境の整備をする。

#### ④基本理念や目指す将来像

##### 【理念】 「ことばとところを育てる読書活動」

・子どもは、読書活動により「多くのことば」を獲得することができます。「ことば」は、自分を作ってくれる第二の命です。「ことば」は「ところ」の糧(かて)であり、「ことば」を通して、知り、感じ、考え、伝え、行動することで、豊かな人間関係や生き方を創造し、「生きる力」を育みます。

・茅野市の実践する「ことばとところを育てる読書活動」は、豊かな感性に根ざした子どもの育成を願うものであり、「たくましく やさしい 夢のある子ども」の器をつくることを目指します。

#### ⑤施策内容

##### 【基本方針】

- i 乳児期(胎児期)から、豊かなことばと出会い、家庭での読書活動に親しみ、生涯にわたって自ら読書活動を楽しむ習慣を身につけられるように応援します。
- ii 家庭、保育園、幼稚園、認定こども園、学校、地域、図書館などでの読書推進活動を、子どもの発達段階に合わせて日常的・継続的に実践することにより、子どもの読書活動の充実を図ります。
- iii 家庭、保育園、幼稚園、認定こども園、学校、地域、図書館などの読書環境の整備・充実を図り、連携・協力により読書活動推進体制を整えます。
- iv 読書活動に関する理解を深め、関心を高めるよう、子どもの読書活動の意義や大切さについての啓発と情報提供を行います。
- v 幼保小連携教育、小中一貫教育を通して、読書の楽しさを味わい、思考力や想像力を活かして、読む力をつけられるように支援をします。

#### 1 子どもの発達段階別施策の推進

・子どもの読書活動の効果を高めるためには、発達段階にあった読書活動を推進することが大切です。発達段階別に各期の特徴とその時期に大切なこと及び具体的施策を示します。

- (1)胎児期(生まれる前)
- (2)乳児期(0歳～2歳)
- (3)幼児期(2歳～6歳)
- (4)児童前期・低学年(6歳～8歳)

(5) 児童後期・中高学年(8 歳～12 歳)

(6) 思春期・中学校(12 歳～15 歳)

(7) 青年期(15 歳～18 歳)

## 2 活動の場ごとの施策の推進

・子どもの読書活動を推進するにあたり、家庭、保育園、幼稚園、認定こども園、学校、地域、図書館などの読書活動をする場所の役割にあった活動が必要です。それぞれの活動する場所ごとの具体的施策を示すことにより、それぞれの場所でやるべき施策を確認し、推進します。

### 【活動の場】

(1) 家庭

(2) 地域

(3) 保育園、幼稚園、認定こども園

(4) 小学校

(5) 中学校

(6) 高等学校

(7) 図書館

(8) こども読書活動応援センター

(9) その他

## ⑥ 進行管理

・毎年、「茅野市こども読書活動推進会議」を開催し、計画の具体的施策の遂行状況の検証及び、推進に向けた協議を行います。

## ⑦ 検討組織等

・茅野市こども読書活動推進会議

### 【茅野市文化芸術推進計画】

#### ① 計画期間

・2018 年度～2027 年度

#### ② 計画策定の趣旨・目的・位置付け

・市が市民や団体、事業者等と協働して行う様々な文化芸術に関する施策を総合的、効果的に推進していくための基本的な方向や役割を明らかにし、地域の文化芸術活動を充実・発展させていくために文化芸術推進計画を策定。

・「第5次茅野市総合計画」の子育て・教育・文化分野、「茅野市教育大綱」の文化・芸術の振興と推進、及び「茅野市生涯学習推進指針」に掲げる方針に対応する分野別計画として位置付け。

#### ③ 背景・必要性

・「文化芸術基本法」に規定する、「地方公共団体の自主的かつ主体的な、その地域の特性に応じた文化芸術振興施策の策定と実施」及び努力義務とされている「その地方の実情に即した文化芸術の推進に関する計画」に対応し、策定を行う。

・ライフスタイルの多様化、人口減少・少子高齢化等が進む中、心豊かな社会を支える基盤として文化芸術の役割が重要となっている。また文化芸術の持つ創造性を様々な分野に活用する動きが求められている。

#### ④基本理念や目指す将来像

##### 【基本理念】

「ハヶ岳の自然に育まれた歴史・文化を次世代につなぎ 誰もが生き生きと暮らせる文化の香り高いまちをつくります」

・地域の伝統文化や市民の自主的な創造活動等、茅野市の豊かな文化芸術を守り、活用し、次世代に継承していくとともに、様々な文化芸術活動を盛んにすることで交流を生み、新たな地域文化を創造していく心豊かな地域社会の実現を目指す。

#### ⑤施策内容

##### 【基本目標 1】 地域文化の創造と文化芸術活動の推進

「誰もが日常的に文化芸術に接し、個々の自由な発想による独創性を尊重した創造活動の充実が図られ、多様な文化を創造する」

- (1)文化芸術に関する情報の収集と発信
- (2)鑑賞機会の充実
- (3)文化芸術活動の拠点整備
- (4)市民の自主的な活動の推進
- (5)発表機会の充実

##### 【基本目標 2】 文化芸術活動に関わる人材の育成

「文化芸術に関わる多様な人材が育ち、地域文化ネットワークを形成する」

- (1)子どもたちの創造力や感性を育む活動の充実
- (2)芸術家の育成と指導者の充実
- (3)文化芸術活動を支える人材の育成

##### 【基本目標 3】 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

「茅野市の特徴ある文化が育ち、広く発信されている」

- (1)文化財の保存と活用
- (2)芸術・メディア芸術作品の保存と活用
- (3)伝統文化の継承と交流の促進
- (4)歴史的景観の保全と活用

##### 【基本目標 4】 文化芸術を活用したまちづくり

「文化芸術を様々な分野に活かし、賑わいや交流を生み出す」

- (1)文化芸術を活用したまちづくりの推進
- (2)産業・観光分野における文化芸術の活用
- (3)健康・福祉分野における文化芸術の活用

⑥進行管理

- ・原則として毎年(仮称)文化芸術推進委員会に進捗状況等の報告を行い、委員会の意見を踏まえて進行管理を行う。

⑦検討組織等

- ・(仮称)文化芸術推進委員会

【縄文の里史跡整備・活用基本計画】

①計画期間

- ・市内史跡・文化財に関する基本的計画であるため、計画期間を設けてはいないが、必要に応じて計画を見直す

②計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・文化財保護法により指定された特別史跡尖石遺跡、史跡上之段遺跡、史跡駒形遺跡、史跡高島藩主諏訪家墓所や様々な史跡が市内に所在する。この史跡を永久に保存し、各々の内容と歴史的価値を踏まえて適切にかつ特徴ある方法で整備、広く公開し、これらの史跡を中心に市内の歴史・文化財を茅野市のまちづくり・人づくりに活用することを目的とする。
- ・史跡に加え市内に所在する文化財や、考古館・博物館・史料館を有機的に結びつけることで、より立体的に茅野市の歴史資産を活かすことを併せて目的とする。

③背景・必要性

- ・史跡・文化財は後世に守り伝えるべき貴重な文化遺産である。この遺産を遺し伝えていくためには、適切な保存と整備に努めるとともに、地域の宝として様々な場面で活用が求められている。

④基本理念や目指す将来像

- ・教育大綱にある「歴史、文化遺産の保護と活用」を本計画の基本理念とする。
- ・公有地として永久に保存が図られる国特別史跡尖石遺跡、国史跡上之段遺跡、駒形遺跡の各史跡の特性を活かした整備と活用を図っていく。
- ・中ッ原縄文公園をはじめとする市内遺跡や、縄文時代以降連綿と続く歴史的な文化財も、茅野市の歴史を語るために欠くことのできないものと捉え、これらの歴史資産を守り・整え・活かし、ネットワークで結び、多様な市民生活に活用し、茅野市のまちづくり・人づくりを進めることを目指す。”

⑤施策内容

1 史跡整備の構想



・国史跡等を史跡の特性を活かした整備。また、史跡整備は単に縄文時代の国指定史跡を整備するだけでなく、茅野市に連綿と営まれた歴史時代・諏訪信仰に関わる史跡や、諏訪氏に関わる史跡も意識し、整備を図ることを目指す。

(1) 史跡整備の基本的な考え方

- ・史跡の特性を活かし、つなぐ
- ・委員会の設置
- ・試掘調査の方針
- ・旧地形の復元
- ・公開
- ・活用
- ・案内・解説板の方針
- ・景観保全の方針
- ・便益
- ・管理の方針
- ・史跡整備の視点・  
「史跡を知る」―史跡の実態を明らかにする  
「史跡を守る」―歴史的な資産として守る
  - i 尖石遺跡の今後の整備のあり方
  - ii 上之段遺跡の今後の整備のあり方
  - iii 駒形遺跡の今後の整備のあり方
  - iv 神長官邸遺跡整備のあり方

2 史跡活用・保存の基本的な考え方

史跡、市内に所在する文化財等や、考古館、博物館、史料館等を有機的に結びつけ活用を図る。

(1) 史跡活用の基本的な考え方

- ・国指定史跡、中ッ原縄文公園や文化財、考古館、博物館、史料館等と有機的に結びつけ、活用に幅を持たせる
- ・史跡活用の視点・  
「史跡で学ぶ」―史跡を活用し学習の場として  
「史跡をいかす」―史跡・文化財・社会教育施設等と連携し、個性ある活用を行う
  - i 史跡を守り育てる
  - ii 史跡の特性を活かした活用
  - iii 史跡と地域をつなぐ活用
  - iv 史跡の広域連携による活用
  - v ボランティアの育成と史跡・文化財ガイドとしての活躍

3 縄文遺跡と文化財の保護・活用の具体的施策

・史跡・埋蔵文化財・文化財を保護・保存・整備し、学び、知る場等の活用の観点から具体的な施策を展開する。

(1) 史跡保存された縄文遺跡の保護の充実

- i 尖石遺跡の保全と維持管理の充実
- ii 上之段遺跡の保全と維持管理の充実
- iii 駒形遺跡の保全と維持管理の充実

- iv 中ッ原遺跡の保全と維持管理の充実
- (2) 埋蔵文化財の保護の充実
  - i 埋蔵文化財保護の充実
- (3) 文化財保護の充実
  - i 文化財保護の充実
- (4) 文化財を学び、知る場の整備の充実
  - i 尖石縄文考古館の充実
  - ii 八ヶ岳総合博物館の充実
  - iii 神長官守矢史料館の充実
  - iv 青少年自然の森の充実

#### ⑥ 進行管理

- ・計画を着実に推進するため、史跡の保護・評価・整備・活用について、考古学、歴史学、力環境、自然科学等の専門的な知見から議論する委員会を設置し、計画の具体化と進行状況の確認を行う。

#### ⑦ 検討組織等

- ・仮称「茅野市史跡整備有識者会議」縄文プロジェクト実行市民会議 守る部会

### 【茅野市スポーツ推進計画】

#### ① 計画期間

- ・2018 年度～2022 年度

#### ② 計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・第 5 次茅野市総合計画及び茅野市教育大綱に対応する体育・スポーツ分野の分野別計画として位置づける。茅野市生涯学習推進指針の方針を踏まえ、今後のスポーツ振興における必要な具体的施策の推進計画とする。

#### ③ 背景・必要性

- ・国は平成 23 年に全面改正されたスポーツ基本法で、スポーツは青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進等国民生活において多面にわたる役割を担うとし、翌年スポーツ基本計画を策定した。この計画を参考に地方公共団体は、地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとされた。本市においても、スポーツ基本法の趣旨に基づき、今後のスポーツ推進の方向性や施策を明らかにするため計画を策定する。

#### ④ 基本理念や目指す将来像

『すべての市民が豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる』 ～ 「市民 1 スポーツ」による体力向上とスポーツを支える活動に参画するために ～を基本理念に、レベルの高い選手の育成から、健康促進を目標にしているスポーツ愛好者まで、生涯

を通じて「いつでも」「どこでも」「いつまでも」1つ以上のスポーツに親しみ、楽しむことで、豊かなスポーツライフを実現することを目指す。

#### ⑤施策内容

##### 【目的】

・スポーツは青少年の体力向上や心身の健全な人を育てることに影響を与え、さらに健康の保持増進に重要な役割を果たすとともに、地域の連帯感や活力を育てます。そうしたスポーツの持つ力を最大限に生かし、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツができるよう、それぞれのライフステージに応じた環境を整備するとともに、施設の整備や機会の充実を図り、「市民1スポーツ」を推進します。

##### 【施策の柱】

- (1) 地域における子どものスポーツ機会の充実
  - ・幼児期からの子どもの体力向上方策の推進
  - ・子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実
- (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
  - ・ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進
- (3) 市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備
  - ・地域のスポーツ指導者等の充実
  - ・地域スポーツ施設の充実
- (4) 競技力向上に向けた体制強化、指導者養成の推進
  - ・選手の育成強化、指導者養成による競技力向上
- (5) スポーツの果たす役割の活用
  - ・スポーツによる地域の一体感や活性化

##### 【施策推進体制の整備】

・計画を着実に推進するために、市民・市・関係スポーツ団体などが、それぞれの役割を認識し、お互いを尊重しながら協働して各施策を進めていくことが必要となる。

・事業の進捗管理や成果の検証、達成目標の点検を行い、必要に応じ達成目標を見直すなど施策の改善を図る。

#### ⑥進行管理

・内容や達成目標について、茅野市スポーツ推進審議会(仮称)などにおいて点検、評価し、必要に応じ施策や事業、達成目標を見直し、改善を図る。

・市民や関係スポーツ団体などの視点に立った計画の推進となるよう評価結果を公表するなど、進捗管理の共有化を図る。

#### ⑦検討組織等

- ・スポーツ推進計画策定委員会

次の茅野市多文化共生・国際交流推進計画については、教育大綱の分野別計画ではなく、『政策横断プロジェクト』多文化の共生と国際交流の推進の中の計画となります。

#### 【茅野市多文化共生・国際交流推進計画】

##### ①計画期間

- ・2018年度～2027年度

##### ②計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・茅野市の国際化に対する方向性を示すことを目的とし、茅野市多文化共生・国際交流推進計画を策定します。なお、本計画は、第5次茅野市総合計画の基本構想「政策横断プロジェクト」の中の「多文化の共生と国際交流の推進」に係る分野別計画として位置づけます。

##### ③背景・必要性

- ・現在、茅野市においても国際化が進み、多くの外国籍市民が生活しています。また、国際交流の機会も広がり、地域と世界の関わりは、日常的なこととなっています。こうした国際化の流れに的確に対応するためには、外国籍市民の自立に向けた新たな支援を含む多文化共生のまちづくりを推進するとともに、国際化に対応できる人材の育成が必要です。

##### ④基本理念や目指す将来像

基本理念 『心豊かな多文化共生社会の実現をめざす』

- ・茅野市は、国際化に対応するための取組として、外国籍市民に対する支援等の「多文化共生のまちづくり」と、国際感覚豊かな人材育成や国際理解を推進するため「国際交流」が行われてきました。このことから、「心豊かな多文化共生社会の実現をめざす」を理念とし、「多文化共生」と「国際感覚豊かな人材育成」の2つの観点から、それぞれの推進のための取組を行います。

##### ⑤施策内容

- ・心豊かな多文化共生社会の実現をめざし、3つの基本目標を掲げ、それぞれの基本目標達成のため、具体的目標を設定し、目標達成のための取組を行います。

###### 基本目標1 多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)

- ・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、多文化共生のまちづくりを推進します。

###### ◆具体的目標(1)情報発信・情報提供

###### ◆具体的目標(2)分野別の支援

###### ①保健・医療・福祉について

###### ②子育て・教育について

###### ③労働・雇用について

###### ④資源物・可燃物等の出し方について

⑤防災の取組について

⑥地域社会との交流推進について

基本目標 2 国際感覚豊かな人材の育成

・国際交流事業等を通じ、外国の文化や習慣等の理解を促すとともに、外国語教育などによりコミュニケーション能力の向上を図り、国際的な視野を有した世界で活躍できる人材の育成に努めます。

◆具体的目標(1)国際理解の推進

◆具体的目標(2)コミュニケーション能力の向上

◆具体的目標(3)国際交流団体等・ボランティアの育成

基本目標 3 多文化共生推進・国際交流団体等への支援

・国・県などの関係機関と連携を図り、多文化共生社会の実現や国際交流推進のため活動する団体等を支援します。

◆具体的目標(1)多文化共生推進団体等及び国際交流団体等への支援

◆具体的目標(2)関係機関との連携・協働の推進

⑥進行管理

・原則として毎年、(仮称)茅野市多文化共生・国際交流推進計画推進委員会に進捗状況等の報告を行い、この委員会の意見を踏まえて進行管理を行います。

⑦検討組織等

・(仮称)茅野市多文化共生・国際交流推進計画推進委員会

### 【第3次茅野市男女共同参画計画(はつらつプラン21)】

①計画期間

・2014年度(2018年度)～2022年度

②計画策定の趣旨・目的・位置づけ

・本計画は、男女がお互いの特性と人権を尊重し、それぞれの個性や能力を発揮し、男女平等の理念により、いきいきと生きる「男女共同参画社会の実現」を目指し、「茅野市男女共同参画基本条例」に基づき策定した計画。第5次茅野市総合計画の行政経営分野における「男女共同の住みよい地域づくりの推進」に対応する分野別計画として位置付け。

・計画の中間年の見直しにあたり、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の規定に基づき、本市が策定する女性の職業生活における活躍の推進に関する計画としても位置付ける。

③背景・必要性

・男女が共に創る住みよい地域社会の実現に向けて、平成26年に第3次茅野市男女共同参画計画(はつらつプラン21)を策定した。計画推進のため、茅野市男女共同参画推進会議を中心に啓発活動を行っている。市民の性別による固定的な役割分担意識は徐々に

減っているが、家庭・職場・地域などにおいて多くの課題が残されており、継続した取組が求められている。本計画も4年を経て、数値目標等現状に即していない部分も出てきており、また、国においては、平成27年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」も制定された。これらに対応するため、第5次茅野市総合計画の策定に合わせ、計画の数値目標の中間評価を行い、数値目標や具体的取組の内容を現状に合わせ見直しを行った。

#### ④基本理念や目指す将来像

- ・「男女が共に創る住みよい地域社会」をテーマに掲げ、男女が性別に関係なく、社会の中で能力を発揮する機会が確保され、また男女共に尊重される社会づくりを目指す。

#### ⑤施策内容

- ・以下の基本目標を掲げて、各分野に渡る施策を計画的に推進する。

##### 基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

- ・男女がお互いの人権を尊重し、性別に基づいた固定的役割分担意識を解消するため、地域・家庭・職場・学校などのあらゆる分野において男女共同参画の必要性を啓発し、意識づくりを進める。

##### 基本目標2 あらゆる分野への男女共同参画の推進

- ・活力ある豊かな地域社会の実現に向けて、男女が対等な社会の構成員として能力を活かし、様々な視点や新たな発想を取り入れることができるように、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を働きかける。また、国際社会との協調、多文化への相互理解と交流を進める。

##### 基本目標3 職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現

- ・男女がともに人生のそれぞれの段階に応じた生き方を選択し、多様な働き方が可能となるように、働きやすい職場環境づくりを推進する。また、家庭においては男女が子育てや、介護などを協力して担い、共に充実した生活を送ることができる環境づくりに取り組む。

##### 基本目標4 男女の性の尊重と健康支援

- ・女性も男性も、互いの性を尊重し、それぞれの身体の特徴を十分理解し合い、生涯にわたり健康で充実した生活を送れる環境づくりを推進する。また、暴力を許さない社会づくりを進める。

#### ⑥進行管理

- ・原則として毎年、茅野市男女共同参画推進会議に進捗状況等の報告を行い、この会議の意見を踏まえて進行管理を行う。

#### ⑦検討組織等

- ・茅野市男女共同参画推進会議

以上で生涯学習部の分野別計画の概要の説明は終わりとなります。

教育長

何かご質問等ございませんか。

矢崎委員

男女共同参画の関係で質問ですが、計画の具体的目標の中に、方針等決定過程への男女共同参画の推進、地区自治会における方針等の企画・決定の場への女性の参画推進とありますが、茅野市の現在の女性の区長は1名だけだったかと思います。行政として女性を推進させるような取り組みは行っていますか。

生涯学習課長

区長などの役を女性にお願いするのは厳しいかと思います。その代わり地区公民館の分館長などをやっている女性は増えてきていると思います。区の実情もあり、強制することはできませんので、区や自治会を通して啓発を行っていきたいと思います。

教育長

他に質問等ございませんか。

次にその他3「第3次子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)の第1回パブリックコメントの実施について」子ども課長からお願いします。

子ども課長

#### 【概要】

まず第3次茅野市子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)の概要を説明させていただきます。

#### ①分野別計画概要

- ・計画名称第3次茅野市子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)

#### ②計画策定の趣旨・目的・位置づけ

- ・本計画は、子どもが生まれる前から18歳になるまでを一貫して子どもとその家族の子育て・子育てを応援、支援していくために、乳幼児・学校教育や生涯学習、また保健、医療、福祉といった関連施策を総合的に実施し、掲げられた理念を具現化するために、計画的に推進していくことを目的としています。

- ・第5次茅野市総合計画の子育て・教育・文化分野に対応し、茅野市教育大綱の方針に基づく分野別計画に位置付け。

#### ③計画期間

- ・2018年度～2027年度

#### ④背景・必要性

・本計画は、地域福祉と教育を有機的な連携をもって推進していくための計画であり、平成14年に茅野市独自の「地域教育福祉計画」として初めて「第1次茅野市こども・家庭応援計画」が策定され、平成22年度からは現計画である「第2次茅野市こども・家庭応援計画」により各種子育て施策が推進されています。

・現計画の計画期間が本年度最終年度であるため、第2次茅野市こども・家庭応援計画での取組を検証し、社会情勢の変化による現在の施策の見直しや新たな課題等への対応を次期計画により推進することで、より一層の子育て環境の充実を図る必要があります。

#### ⑤基本理念や目指す将来像

『たくましく やさしい 夢のある子ども』

・たくましく・やさしい・夢のある子どもに育つことを願い、

○少しの困難にあってもへこたれない、たくましく生きる力をもった子ども

○命を大切に、相手のことを思いやるやさしい心を持った子ども

○一人ひとりが自分の夢を持って、それに向かって努力する子ども

・子どもたち自身が、学びや体験・経験の積み重ねから自分のあり方や評価ができる感情を高め、今と未来のために生きる力を育む「たくましさ」、そして、様々な人との交流から豊かな人間性や思いやりを持ち、他の人との違いを認め、いのちを大切にできる「やさしい心」、そして、自分を理解し、未来への夢や目標を抱き、創造的で活力に満ちた、広がりある心を持つ「夢のある子ども」に育ってほしいと願っています。

#### ⑥施策内容

##### 施策目標1【まなぶ】

・子どもの成長のために、質の高い保育・教育の提供と体験機会の充実を図り、生きる力を育てます。

##### <施策:学校教育の充実>

・小中一貫教育を推進する中で、学校、家庭及び地域が一体となったコミュニティスクールを中核とした学校運営に取り組むとともに、子どもたちの確かな学力、豊かな心及び健やかな体を育みます。また子どもたちや地域のために安全安心な教育環境の整備に努めます。

##### <施策:乳幼児教育の充実>

・乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎となる大切な時期です。様々な環境や人との相互の関わりが十分行われることで、人への信頼感と自己の主体性の形成がなされます。生きる力の基礎を培うために、身体的な発達とともに、情緒的、社会的、道徳的な発達を育む保育と教育の推進を図ります。

##### 施策目標2【支える】

・子育てに関連して社会的援助を必要とする、子どもやその家庭への支援を行います。

##### <施策:子ども・家庭への支援の充実>



・子どもとその家庭を取り巻く問題や課題は、多様で複雑化し、何らかの社会的援助が必要になった時、市民がすぐに相談でき、問題解決に至るまで総合的、継続的に支援できる体制が求められています。福祉、教育、保健・医療等のさらなる連携により、適切な総合支援ができる体制をさらに推進します。

<施策:保健・福祉事業の充実>

・安心して子どもを産み、子どもがより健やかに育まれるために、妊娠・出産・育児期における切れ目ない母子保健事業の充実に取り組む、支援体制を構築します。児童虐待などの問題ある行動を未然に防止するため、妊娠届出時から早期予防の支援を関連機関が連携して行います。

次に第3次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）の骨子について説明させていただきます。

- 1 第3次茅野市こども・家庭応援計画の策定について
- 2 第2次茅野市こども・家庭応援計画の検証と課題
- 3 第3次茅野市こども・家庭応援計画の構成

（上記について説明）

骨子についてまとめましたので、市民の方から意見を募るためにパブリックコメントを行います。いただいた意見は今後の計画策定の参考にし、第3次茅野市こども・家庭応援計画の最終案を2018年6月に作成し、2018年7月に再度パブリックコメントを実施する予定です。今回のパブリックコメントの実施期間は3月1日から3月14日までとなります。説明については以上になります。

教育長

何かご質問等ございませんか。

次にその他4「教育・保育給付に関する利用者負担額（保育料）改正について幼児教育課からお願いします。

幼児教育課長

平成30年度における国の幼児教育の段階的な無償化の取り組みとして、幼稚園、保育園、認定こども園に通う子どもの保育料（国の定める上限額）が変わる予定です。ただ改正に伴い問題があります。1号認定第3階層の保育料が減額改正されることにより、2号認定第4階層の一部で2号認定の保育料が1号認定の保育料（給食費、預かり保育料を含む）を上回る問題が生じます。2号認定第4階層のすべてで2号認定の保育料が1号認定を上回るわけではないため、改正方針として第4階層を分割し、保育料基準額を変更します。改正の金額については表のとおりとなります。また幼児教育無償化に向けた国の動向ですが、平成31年4月5歳児の無償化を先行実施し、平成32年4月から3歳から5歳児は全員無料、

0歳から2歳児は住民税非課税世帯に限り無償化を進める方針です。交付税措置については、現在のところ未定となっておりますが交付税措置がされない場合は、保育に係る経費の財源は一般財源が増加することとなります。また今回の改正は国の政令公布されたところから適用になりますので、3月議会中に交付されれば、追加議案として取り扱いますが、3月31日交付になれば、年度末に専決処分を行い6月議会で報告という流れになりますので、ご承知おきください。

教育長

幼児教育無償化からの交付税措置の見込みはありますか。

幼児教育課長

今まで財源は市町村負担となっていました但今回初めて、公立保育園の入所人数の調査がありましたので、国で検討している段階だと思います。

矢崎委員

他の市町村も負担については同じような状況でしょうか。

幼児教育課長

財源は市町村負担となっておりますが、市の独自軽減につきましては、それぞれに市町村によって異なっております。

教育長

何か質問等ございませんか。

次にその他6「臨時教育委員会の開催について」学校教育課からお願いします。

学校教育課長

3月6日に臨時教育委員会を行いますので、委員の方々は時間までにお集まりください。

教育長

何かご質問などありますか。それでは、以上で2月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 30 年 3 月 27 日

茅野市教育委員会          教   育   長

同職務者代理

委                  員

委                  員

委                  員

こ ども 部 長